

土井 幸輝

国立特別支援教育総合研究所 研究員

中途高齢視覚障害者の点字触読支援具の開発と実用化

UV 点字は様々な素材に適応可能であり，一般印刷物上の文字や図を損なわないために医療品のパッケージやカレンダー等に採用され，急速に普及している．また，網膜色素変性症や糖尿病性網膜症により失明する高齢者が急増する現在において，点字という文字を習得し，読者や書き物をして豊かに生活することを望む中途高齢視覚障害者も少なくない．UV 点字は，通常の紙点字に比べて指への刺激が強く，中途高齢視覚障害者の点字習得には有効であると言われている．しかし，UV 点字が印刷される素材などによっては指が滑りにくく読み難い場合がある．このような背景に基づき，本研究は点字学習者のための点字触読を支援する UV 点字触読支援具を考案し，その効果を検証すると共に実用化することを目的としている．本研究は，急増する中途高齢視覚障害者が点字を学習する際の障壁を少しでも低くし，これから点字を学習したいという人々が学習しやすい環境を整備することに大きく貢献するものである．